

DM制作教室

2024年10月10日(木)・11日(金) 2日間 / 日本印刷会館

DMアドバイザー
資格保有者は



全日本
DM大賞の
1次審査が免除
されます!!

全講座を受講の受講者に
「DMアドバイザー」認定証を授与



受講者全員に2大特典つき!!



特典
1

体系的知識でサポート!
新DMの教科書
(B5判・244頁) **進呈!**



特典
2

最新事例満載!!
成功するDMの極意
全日本DM大賞
年鑑 2024 **進呈!**

ワークショップでDM制作の疑似体験ができる!

受講者の
声

具体的な改善策などを教えていただき、
スキルがアップした。期待以上であった。
(サービス業)

演習を通してDMの作り方を
より理解することができた。
(印刷)



写真は過去のグループ
発表の様子です

グループワークでは自分とは違った意見
を聞くことができ勉強になった、様々な
DMを見ることができ考えさせられた。
(広告業)

コピーのことだけにあらず、
マーケティングのことやテク
ニク、実践まで身に着けやす
いカリキュラムでとても勉強に
なった。(通信販売業)

企画から戦略、実際のテンプレートまで
明確に教えてもらえたので、すぐ実務に
活かせる。(製造販売業)

効果的なコピーの書き方を学ぶこと
ができた。一度読ませたら最後まで
読ませるための工夫をする重要性
がよく分かった(広告・制作)

企画から
改善提案実践まで
DM制作の
基本を2日間で
修得できる

日 時：2024年10月10日(木) / 10:00~17:00(受付 9:30~)
11日(金) / 10:00~17:00(受付 9:30~)

会 場：日本印刷会館 2F 会議室(東京・中央区新富)

受 講 費：DM協会会員 1名 69,300円(税込) 1社複数名申込みは2人目より58,300円(税込)に特別割引
一 般 1名 99,000円(税込) 1社複数名申込みは2人目より88,000円(税込)に特別割引

特 典：『新DMの教科書』
『成功するDMの極意 全日本DM大賞年鑑2024』を進呈

申込方法：「参加申込書」または協会HPの「申込みフォーム」よりお申し込みください。

※参加には簡単な事前課題の提出が必要となります。詳細は受講者の方に別途メールでご連絡いたします。

協会HP「DM制作教室」

(<https://www.jdma.or.jp/seminar/seminar.php?id=107>)

申込締切日：9月20日(金) 事前課題締切日：9月27日(金) 必着



日本印刷会館(中央区新富1-16-8)

TEL 03-3551-5011

<https://www.jfpi.or.jp/kaikan/>

お申込み・お問合せ

日本ダイレクトメール協会
事務局

TEL 03-5541-6311



一般社団法人 日本ダイレクトメール協会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館6F

TEL 03-5541-6311 FAX 03-5541-6322 URL: <https://www.jdma.or.jp>

DM制作の基本、コピーライティング、WebとDM、郵便法規など、 最新事例を基にDM制作の 基本を徹底的に学びます

開催日 **2024年10月10日(木)・11日(金)** 会場 **日本印刷会館**

タイムスケジュール

※講師・講座内容は都合により変更することがあります。※講師名は敬称略

1日目 10/10(木)						
10:00~10:15	10:15~12:00 (105分) ※休憩含む	12:00 ~ 13:00	13:00~15:10 (130分) ※休憩含む		15:20~17:00 (100分) ※休憩含む	17:10 ~ 18:30
ワークショップ オリエンテーション	クリエイティブ ～DM制作の基本～ 講師：有田 昇 ■ダイレクトマーケティング概論 ■ダイレクトメールの企画と戦略 ・ターゲット・データ・分析 ・オファーの種類と表現方法 ・クリエイティブ戦略とレスポンスアップの方法	昼休憩	今日から使える！ 人を動かすコピー生産方法 講師：小山 識 ■泣くか笑うか——コピーの重要性 ■CR事例から読み解く——コピーのつくり方 ■心を揺さぶるだけのコピーと 体を突き動かすコピーの境界線をさぐる	休憩	どこまでできる？ 制作ガイドラインと信書 ～DM事例を見ながら制作のヒントを探す～ 講師：吉岡 英彦、総務省 ■郵便法規 ■DM制作時の注意点 ■総務省による信書説明	懇親会(予定)
2日目 10/11(金)						
10:00~12:00 (120分)	12:00 ~ 13:00	13:00~14:30 (90分) ※休憩含む		14:40~16:40 (120分)	16:40 ~ 16:50	16:50 ~ 17:00
DM制作のヒントI 講師：吉川 景博 ■自分に届いたDMを検証 ■DMのリバースエンジニアリングとは ■DMリバースエンジニアリング事例紹介	昼休憩	DM制作のヒントII (ワークショップ) 講師：吉川 景博 アドバイザー：吉岡 英彦 ■DMのリバースエンジニアリング 実践ワークショップ (実際のDMを使いワークショップ)	休憩・発表準備	DM制作のヒントII (チーム発表) 講師：吉川 景博 アドバイザー：吉岡 英彦 ■DMのリバースエンジニアリング 実践ワークショップ (チームごとに改善ポイント発表)	全日本DM大賞 応募のテクニック	修了式

ダイレクトマーケティング界をリードする講師陣が、スキルアップと認定資格を保証します。

	有田 昇 (有)アリゴ 代表取締役	DMコンサルタント。1968年に大阪外国語大学(現・大阪大学)英語科卒業後、コピーライターとして日本リーダースダイジェスト社に入社。その後、マッキンゼーエリクソン博報堂でプランニング・マネージャーとしてDMの企画から制作・実施・分析まで総合的に関わる。96年にDMコンサルティングを中心業務とするアリゴを設立し、多くの企業のDMを指導している。	上智大学などでDM講義。全日本DM大賞審査委員などを歴任。著書「実践 一通のDMでお客様の心をつかむ法」「効果がすごいパワーDMの作り方」(ともに中経出版)および神田昌典氏との対談CD「誰も知らないDMの奥の手」は、実践的なDMの教科書としてロングセラーになっている。 ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:理事 ■「新DMの教科書」(宣伝会議)共著者
	小山 識 (株)電通ダイレクトソリューション室 クリエイティブ2部 部長 クリエイティブディレクター／コピーライター	学生時に受賞した宣伝会議賞を機に、2003年コピーライターとして東急系制作プロダクションでキャリアスタート。当初はブランディング系の広告制作に特化し携わるが、その後「結果がすべて」のダイレクトマーケティングの世界に魅了され、2008年(株)電通ダイレクトフォース(現電通ダイレクト)にクリエイティブディレクターとして参画。担当はナショナルクライアント・ベンチャー企業を中心に、健康食品、保険、化粧品、	雑貨等のCRディレクションに従事。TVCMやインフォーマーシャルをはじめ、新聞・折込、ラジオ、CRMツール、デジタルまで一貫通したコミュニケーションを手掛けている。マネージャーとしてダイレクトマーケティングを起点としたクリエイティブディレクター育成も実践中。モットーは「たった一人に届けよう、するとみんなに届くから。」
	吉岡 英彦 Office309 代表 ダイレクトマーケティングコンサルタント シニアクリエイティブディレクター	1978年、(株)CBSソニー 販売促進部入社。1980年、(株)ジャパングラフィックスから1986年、(株)電通ワンダーマン・ダイレクトへ。38年間にわたりダイレクトマーケティングのクリエイティブに関わる。2008年7月1日より(株)電通ダイレクトフォースへ転籍。2021年7月1日社名変更。(株)電通ダイレクトを経て現在「Office309 代表」。	■賞歴:第2回全日本DM大賞郵務局長賞／織研新聞大賞佳作／第5回全日本DM大賞部門賞金賞／エコー賞入選／第6回・第12回全日本DM大賞日本DM協会会長賞／第55回カンヌ国際広告祭 ライオンダイレクト ショートリスト入賞他。 ■ECHO賞 一次審査員 ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:派遣講師
総務省 情報流通行政局 郵政行政部 郵便課		総務省 情報流通行政局 郵政行政部 郵便課では、郵便法に規定された信書の定義に基づき、信書に該当する文書を分かりやすく説明した「信書に該当する文書に関する指針(信書のガイドライン)」を策定している。	また、リーフレットの配布、説明会や個別訪問等を通じ、信書制度について幅広く周知広報活動を行うとともに、事業者・利用者から信書に関する照会・相談を受け付けている。
	吉川 景博 フュージョン(株) エグゼクティブ マーケティングディレクター	1993年大手流通小売業入社。マーケティング部門にて広告全般を担当。主に顧客戦略策定、FSP開発、データ分析等、顧客データを活用したプロモーションを実践。現在は、フュージョンにてダイレクトマーケティングを軸とした、企業のマーケティング戦略立案、営業支援、新規顧客開拓などを実践。全日本DM大賞多数入賞実績あり。	■米DMA公認ダイレクトマーケティングプロフェッショナル ■一般社団法人日本ダイレクトメール協会:ダイレクトマーケティング委員長 ■「新DMの教科書」宣伝会議(有田昇・兼松祐二・椎名昌彦・吉川景博共著) ■全日本DM大賞 二次審査員